

科学技術倫理科目

プロフェッショナルとしての倫理と行動設計 A 1単位 Professional Ethics in Engineering A

科学技術の専門職として必要な価値（公衆の安全・健康・福利、地球環境の持続性、知的財産の保護など）を、具体的な事例の検討、研究倫理プログラム（中間報告および改訂版）の作成、さらに CITI Japan の受講を通して学ぶ。各研究室における研究・教育活動における倫理的問題について考察し、研究倫理プログラムを継続的に検討することにより、倫理に関する感性と、問題分析・解決能力の向上を図る。

目標：1. 科学技術者が研究・開発・実践において重視すべき価値について説明できる。2. 「責任ある研究活動」、「疑わしい研究活動」、「研究不正」などについて具体例を挙げながら説明できる。3. 自らの研究室の倫理プログラムを設計できる。4. 「責任ある研究活動」に関わる基本的な概念（データの扱い方、利害相反、オーサーシップなど）について説明できる。

プロフェッショナルとしての倫理と行動設計 B 1単位 Professional Ethics in Engineering B

「プロフェッショナルとしての倫理と行動設計 A」で学んだ知識の理解を深め、向上させた技能をさらに伸ばすために、具体的な事例の検討とグループおよび受講生全体でのディスカッション、さらにインターアクティブビデオ教材「The Lab」による学習を行う。具体的には、優れた意思決定と行動が社会や研究者コミュニティに貢献した事例を調査・分析してその成果を発表する。また科学技術が人間社会や地球環境に与える影響について調査・分析して、所属研究室の研究倫理プログラムを完成させる。

目標：1. 科学技術者が研究・開発・実践において重視すべき価値について、具体例を挙げながら詳細に説明できる。2. 「責任ある研究活動」を推進し、「疑わしい研究活動」、「研究不正」などを防ぐための方法について具体例を挙げながら説明できる。3. 自らの研究室の倫理プログラムを改善することができる。4. 倫理プログラムを実装する方法を提案できる。